

I 授業改善計画（研究協議・研究授業）

【4月～ 6月】	【7月～12月】	【1月～ 3月】
○児童の実態の把握と問題点の共通理解 ○「授業改善5点セット」の共通理解 ○目標達成に向けた組織的な授業改善の共通理解 ●第1回校内研究会・授業研究の検証・方向性 ●互見授業の実施と検証	○評価アンケートの実施と検証・振り返り ○最重要の「基礎基本の定着」の指標の検証 ○学力状況調査の検証 ●第2回校内研究会・授業研究の検証・方向性 ●互見授業の実施と検証	○評価アンケートの実施と次年度の取組、指標、改善策計画の策定 ○評価及び各種テストの検証による最重要の構想 ●本年度の研究のまとめ及び次年度の研究テーマや研究方法等の構想 ●互見授業の実施と検証・来年度の方向性

II 児童生徒の課題

学力状況について	学習状況について
○各種学力調査等の結果の分析・考察 ・到達目標に達している学年もあるが個人差が大きい。 ・活用問題に対して苦手意識を持つ児童がいる。 ・資料と文章を関連づけて考えることが難しい場合がある。 ・自分の考えを、構成や要点に気をつけながらまとめて書く力が不足している児童がいる。	○児童質問紙調査等の分析・考察 ・家庭学習時間の習慣化ができていない児童がいる。 ○学校生活状況から言えること ・自分の言葉で考えを伝えたり相手の話を一生懸命聞こうとしたりする姿は見られるようになってきたが、考えを筋道立てたり論理的に伝えたりする力はまだ不十分である。

III カリキュラム

重点目標	達成指標	プロジェクト1 授業改善の取組			
		①授業改善テーマ	自分の考えを効果的に伝える力を育てる授業		
市・県・全国の学力テストで、基礎内容の全項目が偏差値50を達成する	基礎・基本の定着	②授業改善の重点	話し合い活動や説明の仕方の工夫を取り入れた授業の推進		
		③取組内容	④取組指標	⑤検証指標 (目指す児童生徒像)	進捗状況 1学期 2学期 3学期
		重点 ＜思考を深める話し合いの場の設定＞ キーワードを生かした説明の仕方の工夫を図り、考えを交流する場を設定する。	毎日の授業の中でキーワードを位置づけ、2週間に1度研修の時間に職員間で振り返りを行う。	■児童意識調査における回答者の割合 ◆キーワードを使って説明ができたと思えた児童を8割以上にする。 79	
<b>※プロジェクト2～4については取組指標の進捗状況を各学期末に4段階で評価する。                      ・ ・ ・ 取り組めていない(1) 未達成(2) ほぼ達成(3) 達成(4)</b>					
		プロジェクト2 その他の学習指導の取組			
		重点的取組	取組指標	進捗状況 1学期 2学期 3学期	
		ぐんぐんタイムを設定し、基礎・基本の定着を図る。	水曜日と木曜日の8:20から8:35の15分間実施 ・水曜日は国語、算数から選択してドリル学習をする。 ・木曜日は国語、算数から選択してドリル学習をする。	3	
		プロジェクト3 学習状況改善の取組			
		ブックンタイムと読み聞かせ運動で読解力の向上を図る。	月曜日と金曜日の8:20から8:35の15分間実施 ・月曜日はブックン（読書：担任指導）タイムとする。 ・金曜日は読み聞かせ（保護者支援：学期に10回、年30回）	3	
		プロジェクト4 家庭・地域との協働			
		(家庭) 基礎・基本の定着のため、家庭学習時間の確保を図る。 読む力をつけるため、読書の習慣化を図る。 (地域) 基礎・基本の定着のため、放課後補充学習の支援をする。 本に親しむ習慣をつける。	(家庭) ・学期に1回、「生活ふり回りカード」(1週間)をつけ学習時間の確保、定着を図る。 ・月2回の放課後補充学習に〇つけボランティアとして参加する。 ・毎月第1、3の週末は「親子読書」に取り組み、親子で同じ本を読み、感想等を読書カードに記入する。 ・長期休業中には、「〇〇親子おすすめの本」カードを作成し、互いにおすすめの本を紹介し合う。 ・学期に1回、「生活ふり回りカード」(1週間)をつけ、平日10分以上、土日20分以上の読書の習慣化を図る。毎週金曜日の朝、各教室で読み聞かせを行う。 (地域) ・月2回、学習サポーターが放課後補充学習を支援する。 ・月1回金曜日の朝、各教室で読み聞かせを行う)	3	

IV 考察

1学期	自分の考えを効果的に伝える力を育てるために、授業において思考を深める話し合いの場を設定し、キーワードを使って説明するようにさせてきた結果、「できた・だいたいできた」という児童がほぼ8割に達した。しかし、児童が話し手の意図を正しく聞いているかという観点で考えた時には、効果的に伝えられているとはまだ言えないので、自分と友達の考えを比べながら聞いたり、関連づけて考えたりすることを意識させていきたい。また、職員間での定期的な振り返りが不十分であったので、2学期から取り組んでいく。 「ぐんぐんタイム」のドリル学習の取り組みはできているが、基礎・基本の定着につなげるためには個に応じたプリント作成など更なる工夫が必要だと感じる。 「ブックンタイム」と読み聞かせの取り組みで読書活動はできているが、読解力の向上をねらうためには「おすすめの本リスト」や「楽しい読書」を利用するなど読書内容の精選も考えていくことが大事だと考える。 家庭学習は、(学年×10+10)分を基本にして課題を出したり自学に取り組ませたりしてきた。家庭学習のてびきシートを配布し、確認や声かけを通信で呼びかけたり、また、生活時間調査をした結果をもとに生活改善をPTAでお願いしたりと協力・協働を目指している。
2学期	
3学期	

V 次年度に引き継ぐ改善策

--